

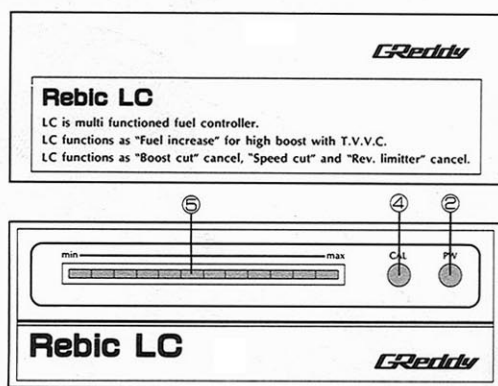
# Rebic LC

LCは、ノーマルインジェクターを最大限引き出し、BOOSTカット、SPEEDカット、レブリミッターカット等を解除するシステムです。空気流量及びRPM制御も行なっていますので、ハーフスロットルや全開走行でも不快感なく走行できます。調整方法は③ダイヤルで調整します。

## パーツリスト

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. LCインジケータ—1コ | 3. コネクターセット—1コ |
| 2. LCメインアンプ—1コ | 4. 本体取付金具—2コ   |

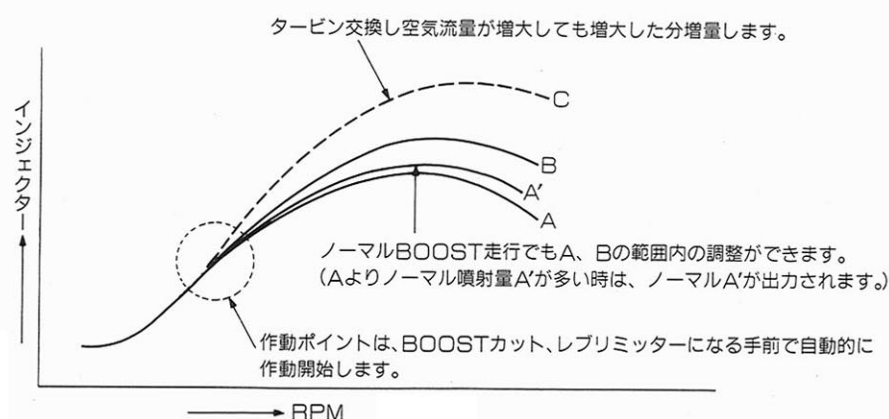
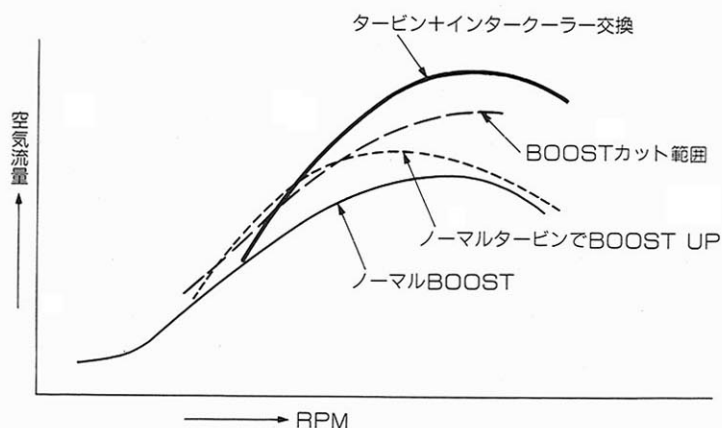
## LCインジケータ、LCメインアンプ各部名称



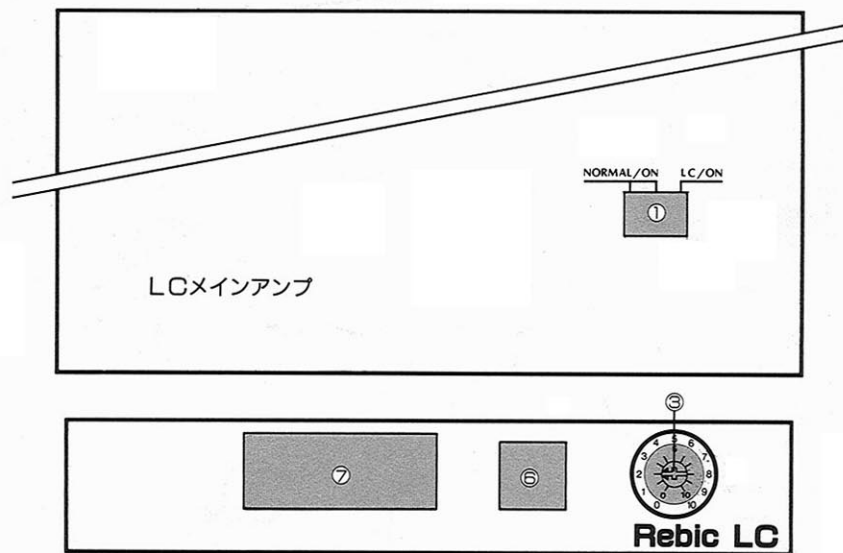
LCインジケータ

①

- 空吹かしにより6000RPM位まで回転を上げ作動点検をします。(この時、緑ランプが点灯した時多少ショックが出ますが問題ありません。)
- 走行テスト及びシャーシーダイナモでテストする時⑤LEDでチェックし、ほぼ同じかLED1コ多め位が良いと思います。(出荷時は、ノーマルとほぼ同量にダイヤルがセットしてありますが、再度チェックして下さい。)



③



- PWスイッチ(OFF時ノーマルになります。)
- PW LED(スイッチON点灯)
- 調整ダイヤル
- LC 作動LED(点灯していない時はノーマル作動です)
- インジェクター作動量LED
- コントロール接続コネクター
- 取付ハーネス接続コネクター

## 調整方法

- メインアンプのPW/SWをONにする。(OFFの場合はノーマルになります。)
- 作動ポイントは、ある設定値及び回転になると自動的に作動します。
- 調整ダイヤル(本体側)



0ダイヤル時の噴射量は、ノーマルより30%位薄いセッティングになり、5ダイヤル時はノーマル値、10ダイヤル時には30%増量のセッティングになります。

②

## 取付前後のチェック

- BOOSTカット、SPEEDカットコントローラーが取付してある時は、LC 取付コネクターとノーマルコンピューターの間に取付して下さい。(取りはずしても良い)
- チェックランプの確認  
ダイアグノーシスチェック点検(コードを読み取りチェックする。)
- メインスイッチOFF後、T.F.C.のバーLEDが3秒前後全部点灯しますが異常ではありません。
- 本体取付位置は、温度が低くノイズが出にくい所に取付ける。(点火系の近くはさけて下さい。)
- ノーマルコンピューターの位置  
ソアラ(MZ20・21)はグローブボックスの下側、スープラ(MA70)はグローブボックスの上側にあります。
- ガソリンは必ずハイオクタンガソリンを使用して下さい。

## 適合車種

7 M-GTEU ○ソアラ(MZ20・21) (～63年1月)  
○スープラ(MA70)

1 G-GTEU ○ソアラ(GZ20) (～63年1月)  
○スープラ(GA70)

※コネクター違いの為

④